

フランス・コルマルでの日本の観光物産展 事業報告書

1. イベント概要

開催地： フランス共和国・コルマル市

開催期間： 2024年11月12日（火）～11月17日（日）6日間

開催規模： 来場者数 14,800人（6日間合計）
出展団体合計：14団体

主催： 公益財団法人 国際親善協会

開催国側主催： フランス共和国・コルマル市

後援： アルガス日本研究センター（CEEJA）、アルガス・デスティネーション・ツーリズム、在ストラスブール日本国総領事館、国土交通省、文部科学省、農林水産省、フランス観光開発機構、コルマル市観光局、日本政府観光局（JNTO）、独立行政法人国際交流基金、日本貿易振興機構（JETRO）、一般財団法人自治体国際化協会、一般財団法人地域伝統芸能活用センター、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会、東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社

助成： 公益財団法人関西・大阪21世紀協会

協賛： 日本航空株式会社、損害保険ジャパン株式会社、株式会社みずほ銀行、西日本旅客鉄道株式会社、株式会社日本旅行、株式会社ミキ・ツーリスト株式会社ブランドゥ・ジャパン



本事業は公益財団法人関西・大阪21世紀協会の補助を受けて実施しました。

2. コルマールでの展示・実演

コルマール旧市街にある歴史的な建物の「コイフイス（Koifhus）」の1階で開催した。観光地の中心部での実施ということもあり、開場後から多くの来場者で賑わいを見せた。

日本の「食」を伝える日本酒や桜茶の試飲を実施する団体、さらに体験型の甲冑や袴の着付け体験など、行列のできるブースが多く見られた。また日本の観光地のPRブースも充実しており、日本観光を計画している来場者の興味を引いた。

参加団体一覧

都道府県	団体名
北海道	釧路市 北海道観光振興機構
群馬県	草津温泉観光協会
東京都	日本旅行協定旅館ホテル連盟 日本旅行万博推進室 日本航空 日本政府観光局
神奈川県	秦野八重桜協会
福井県	そばの花咲く福井県
山梨県	マウントフジツーリズム
大阪府	JR西日本グループ バーチャル大阪駅
広島県	江田島市観光協会
福岡県	九州観光機構

釧路市

釧路市は富貴紙やアイヌ織物、昆布について紹介いただき、釧路市の魅力が十分に伝わる展示となった。実演には多くの人だかりができており、来場者はアイヌ独特の文化に高い関心を寄せていた。



北海道観光機構

コルマールにはスキー場があり、スノーアクティビティが身近にあるため、北海道の観光アクティビティについても興味を示す方が多くいた。北海道は四季ごとに異なる楽しみ方があるのも特徴であり、中でもラベンダーについて書かれたチラシに興味を示す方が多かった。



草津温泉

コロナ明けからフランス人の宿泊者が増加している草津温泉。温泉街を浴衣を着る体験などへの憧れもあり、温泉の人気が高まっている中で、「温泉」コンテンツへの興味関心が高く、また、アルザス地方にも「温泉」があるようで、現地の方々との親和性の高さも感じた。配布したパンフレットもイベント終了時にはほぼ完配していた。



日本旅行協定旅館ホテル連盟

日本全国のホテルを紹介。沖縄のリゾートホテルや温泉旅館など、さまざまなタイプの宿泊施設のパンフレットを配布し、来場者へPRした。来場者の中にはパンフレットをみて「このホテル、泊ったことがある」という方もおり、日本観光への興味の高さを実感できた。



日本旅行 万博推進室

間近に迫る「大阪・関西万博」の魅力をコルマールの人々に紹介。今年7月には公式キャラクターのミャクミャクもフランスを訪問しており、フランスでも認知が高まっている中、今回はミャクミャクが描かれた公式グッズの配布が行われ、高い関心を得ていた。



日本政府観光局

日本政府観光局のフランスパリ事務所が出展。パリでは訪日イベントが盛んに実施されているが、今回はフランスの地方都市での実施ということもあり、日本への興味関心がどれくらいのものか未知数であった。しかし、約3万部用意したパンフレットも最終日には9割近くなくなっており、コルマールでも日本への関心の高さがうかがえた。



日本航空

日本との直行便が毎日就航する日本航空。ブースでは、70周年の記念展示に加え、おりがみで飛行機を作って飛ばす「おりがみ飛行機」のアクティビティが実施された。「おりがみ飛行機」は子どもに大人気であり、おりがみでの紙飛行機作りに夢中になっていた。また、アルザス出身のイラストレーターJeanさんもブースに立ち、自身が描く日本のイラストとともに日本航空のPRを行った。



秦野八重桜協会

海外では鑑賞するものとして人気の高い桜であるが、秦野八重桜協会のブースでは今回、「八重桜」を用いた「桜湯」の試飲を実施。桜は見るだけでなく「食する」こともできるということをPRできた。協会の方々が和服でブースに立っていたのも印象的であり、来場者が秦野市について積極的に質問している様子が見られた。



そばの花咲く福井県

「そばの花咲く福井県」のブースでは、テレビモニターで福井県の動画を流しており、動画の内容に興味を持つ方が多く、映像を最後まで視聴している来場者も多かった。映像ということもあり、大人だけでなく子どもも興味を示しており、小学生の団体もみんなが立ち止まって映像を視聴し、「きれい」「行ってみたい」などの声も聞こえた。



マウントフジ ツーリズム

マウントフジツーリズムのブースでは富士山や富士五湖の観光資源の紹介だけでなく、着物や甲冑の着付け体験も行い、毎日多くの来場者で賑わっていた。富士山の認知は高い一方で、まだ知られていない周辺の観光地も多く、今回のマウントフジツーリズムの出展を通してコルマールの方々に周辺の観光地についても知ってもらうことができた。



JR西日本グループ

「大阪・関西万博」を目前に、現地までの交通手段や知名度の高い大阪・京都を含む関西エリアの観光地、また、北陸エリアの観光地やグルメなどの魅力をパンフレットとともに紹介した。中でも和歌山の情報やカニに興味を持っている方が多く、これらのパンフレットを手取る来場者も多かった。海に面していないコルマールではシーフードは珍しく、日本に行ったら海鮮を食べたいという声も聞くことができた。



バーチャル大阪駅

「バーチャル大阪駅 3.0」の特設エリアの中に期間限定でコラボレーションイベントを開催。特設エリアでは漢字をヒントにした宝探し形式の体験を実施し、来場者には実際に最先端の日本文化に触れていただくことができた。アニメ人気が高いフランスでは、最近VTuberも徐々に人気になっており、日本のメタバース文化も広がりを見せている中で、今回の施策はよいPRとなった。



江田島市観光協会

「広島」や「せとうちエリア」はフランスでも認知があり、江田島市のデスクには、この地域の詳しい話を聞きに来る来場者でいつも賑わっていた。また、「SEA SPICA」に興味を持っている方も多く見られた。アクセスについての質問も多く、主要空港からのルートや、その周辺の観光地を交えて紹介している様子が見られた。



九州観光機構

九州地方のパンフレット配布を通じて、九州地方の観光地の魅力をコルマールの人々に伝えることができた。「九州」という地名の認知はあるようで、出展団体様に準備いただいたパンフレットは会期半ばで完配した。九州地方は自然の観光資源も豊富にあり、自然に囲まれたアルザス地方の方々にとっても親和性の高い地域であると感じた。



3. コルマルでの告知

コルマル市にご協力を頂き、日本地図に参加自治体を配した共同広告をコルマル市内35か所に10月31日から11月21日までの間掲出した。

また、各自治体の個別ポスターはコルマル市の劇場、博物館、図書館等の施設13か所に11月7日から11月18日までの間掲出した。



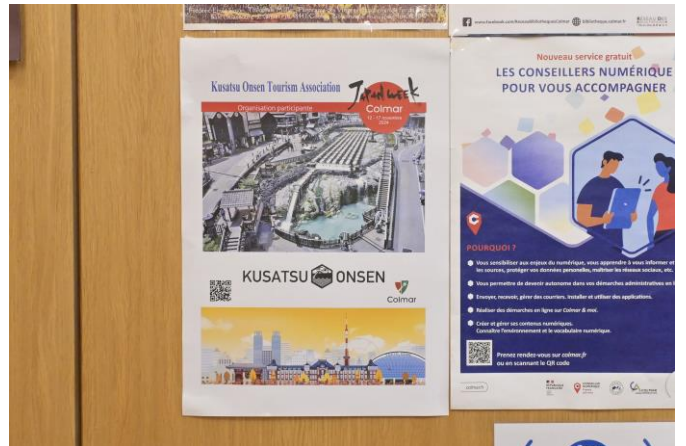
共同広告



共同広告



個別広告（北海道）



個別広告（草津）

4. パリ商談会

当初、コルマルで業界関係者との商談会を予定していたが、多くのバイヤーがパリにいるため急遽パリにて商談会を開催した。

日程：2024年11月12日(火) 13:00~19:00

会場：Novotel Paris Centre Tour Eiffel

フランス側参加団体：合計 31団体/36名

【観光】旅行会社、ツアーオペレーター等 22団体/27名

【物産】輸入販売業者、卸業者、レストラン、スーパー・土産店、関連雑誌等 9団体/9名

■共催：本商談会は、公益財団法人東京観光財団（TCVB）との共催にて開催した。

開催プログラム

観光商談会 実施項目		物産商談会 実施項目	
11:00	日本側セラー集合・受付（受付後、商談準備）		
11:15 ~ 11:40	日本側セラーブリーフィング（JNTOパリ事務所挨拶および商談の進め方）		
12:30 ~ 13:00	フランス側バイヤー受付		
13:00 ~ 13:05	<p style="text-align: center;">【主催者挨拶】</p> 公益財団法人 国際親善協会 会長代理 / 株式会社日本旅行 代表取締役社長 小谷野 悦光 氏 公益財団法人 国際親善協会 会長・参議院議員 鶴保 庸介 氏からのビデオレター		
13:05 ~ 13:35	プレゼンテーション 【2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のご紹介】 公益財団法人 国際親善協会 国際交流親善大使 / 大阪・関西万博催事検討会議 共同座長 / 一般社団法人 mother ha.ha 代表理事 大崎 洋 様		
13:35 ~ 13:50	プレゼンテーション 東京観光レップ（フランス） / サラ・マルカデ		
13:50 ~ 13:55	司会より商談についての説明		
【観光商談会】		【物産商談会】	
13:55 ~ 14:15	第1 枠 マッチング商談（旅行会社）	13:55 ~ 14:25	第1 枠 マッチング商談（物産業者）
14:15 ~ 14:20	移動	14:25 ~ 14:30	移動
14:20 ~ 14:40	第2 枠 マッチング商談（旅行会社）	14:30 ~ 15:00	第2 枠 マッチング商談（物産業者）
14:40 ~ 14:45	移動	15:00 ~ 15:05	移動
14:45 ~ 15:05	第3 枠 マッチング商談（旅行会社）	15:05 ~ 15:35	第3 枠 マッチング商談（物産業者）
15:05 ~ 15:10	移動	15:35 ~ 15:40	移動
15:10 ~ 15:30	第4 枠 マッチング商談（旅行会社）	15:40 ~ 16:10	第4 枠 マッチング商談（物産業者）
15:30 ~ 15:35	移動	16:10 ~ 16:15	移動
15:35 ~ 15:55	第5 枠 マッチング商談（旅行会社）	16:15 ~ 17:25	フリー商談
15:55 ~ 16:00	移動		
16:00 ~ 16:20	第6 枠 マッチング商談（旅行会社）		
16:20 ~ 16:25	移動		
16:25 ~ 17:25	フリー商談		
17:25 ~ 17:35	閉会挨拶・移動		
17:35 ~ 19:00	カクテルレセプション		

実施内容

- ・開会前のセラー向けブリーフィングにおいて、JNTOパリ事務所永井初芽所長から、『フランス市場の最新動向』と題してプレゼンテーションを実施していただいた。
- ・バイヤー向けセミナーでは、国際親善協会会長代理小谷野悦光氏による主催者挨拶の実施、国際親善協会国際交流親善大使大崎洋氏による大阪・関西万博に関するプレゼンテーションの実施、更に、共催者である東京観光財団による東京プロモーションに関するプレゼンテーションを実施した。
- ・商談会は、セラーを固定席とし、観光商談は1枠20分のアポイントメント商談を6枠、物産商談は1枠30分のアポイントメント商談を4枠実施した。アポイントメント商談終了後は、1時間程度のフリー商談を実施し、名刺交換や商談をしていないセラー・バイヤーとの商談機会を創出した。
- ・会場外のフォイヤーで、PRブースを設置し、4団体によるプロモーションを実施した。
- ・バイヤーの団体数が、セラーの団体数より少ない状態であったため、複数名で参加していただいているバイヤーには分かれて商談に参加していただいた。
- ・商談はほとんどのテーブルが商談を実施しており、盛況であったが、当日欠席のバイヤーが数社あり、セラーから欠席したバイヤーと是非商談したかったという声もあった。



JNTOパリ事務所 永井所長



大阪関西万博紹介 大崎親善大使



商談（観光）の様子



商談（物産）の様子